

【資料2】

第3回高知県産業振興計画フォローアップ委員会
平成25年3月29日

地域アクションプランの進捗状況とプランの追加・削除項目(案)について

■地域アクションプランの進捗状況等について

1. 平成24年度の主な成果…………… 1
2. 各地域の主な動き…………… 2

■地域アクションプランの追加・削除項目について

1. 地域アクションプランの動向…………… 10
2. 地域アクションプランの追加項目…………… 11
3. 地域アクションプランの削除項目…………… 12

地域アクションプランの進捗状況等について

1 平成24年度の主な成果

◆第1期3年間の取り組みを土台に、各取り組みがステージアップ。新商品開発や地産外商、地域の観光の魅力向上に向けた取り組みが活発に。

【新たな食品加工が誕生】

- シラス加工場や焼酎の醸造施設の整備により、新たな加工品が誕生
- メジカやキビナゴなどの加工品の開発・磨き上げにより販路が拡大

【地産地消・地産外商の動きが活発に】

- 各地で直販所や道の駅などが新設・拡充
- 新高梨やユリなどの販促活動の強化により、ブランド力を向上
- 県外・海外の見本市に出展し、外商に挑戦。日本初となるフランスへのユズ青果の輸出を実現

【地域の観光の魅力が向上】

- 地域地域で観光資源の磨き上げや観光人材の育成が進む
- 「奇跡の清流」としてテレビ放送された仁淀川地域で入込客数が増加

- 地域が主体となった博覧会開催に向けて始動（H25幡多地域、H27安芸地域）

【新たな動き】

- 集落活動を支える拠点施設「集落活動センター」での特產品づくりが始動

◆産業振興の取り組みを地域地域に広げるために広報活動や人材育成等を強化

（土佐まるごとビジネスアカデミーの開講、土佐の産業おこし参加プランの募集、各地でのシンポジウムの開催、ホームページ等での実践者の取り組み事例の紹介、包括協定に基づく金融機関との連携強化など）

⇒地域アクションプランの新たな実践者は一部に止まっていることから、引き続き、広報や啓発活動に工夫をこらしながら、参画を促していく。

■ 地域アクションプラン数

	安芸	物部川	高知市	嶺北	仁淀川	高幡	幡多	計
H24当初	28	23	30	27	38	33	41	220
追加・削除				1		1	▲1	1
H24最終	28	23	30	28	38	34	40	221

■ 主な支援策の活用状況（平成24年度）

- ・総合補助金 29事業 総事業費988,862千円（県補助金額324,212千円）
- ・産業振興アドバイザー事業 採択件数53件、指導・助言回数142回
(うち地域支援にかかるもの 採択件数34件、指導・助言回数100回)

■ 主な成果（平成24年度）

- ・地域アクションプランによる雇用の創出 125人 （うち総合補助金導入事業関連 86人）

※いずれもH25.3月末見込み

各地域の主な動き

仁淀川地域

「宇佐の一本釣りうるめ」や「本川キジ」など地域の特産品を活用した新商品の開発や販路の拡大が進んでいる。

また、土佐市の集客施設の整備を行ったほか、日高村の「さんさん市」でも施設の拡充に向けて準備が進んでいる。

観光面では、「仁淀川」のテレビ放送の追い風で、主要観光施設への入込客数やツアーフローティングも増加しており、この好機を逃さないよう、新たに屋形船の運航がスタートするなど、観光資源の掘り起こしを行っている。

嶺北地域

地域の4町村と民間団体が、連携して観光・交流人口の拡大を目指した取組を行い、地域外からの交流人口が拡大してきている。

また、担い手確保の観点からは、地域外からの担い手確保として移住促進の取組を地域が一体となって活動を展開し移住者が増加してきているとともに、地域内の担い手育成として嶺北高校が地域内企業と連携して地域の特産品（米粉等）を使った商品開発を行うなど、担い手確保に向けた取組が進んでいる。

また、ブランド米「土佐天空の郷」は米食味分析鑑定コンクールで4年連続受賞し、ブランド米としての地位を確立しつつあるほか、関連商品として新たな加工品（米焼酎等）造りの動きも出てきている。

高幡地域

津野町のアンテナショップ「満天の星」が高知市内にオープンし、目標を大きく上回る売り上げとなるなど、地産外商が進んでいる。

また、久礼新港背後地において地場産品を利用した加工施設の検討や、四万十の栗の加工とカフェ機能を持った施設の整備に向け、動き出している。

観光面では、オープン以来人気の施設となっている海洋堂木ビーガンは、さらなる集客を見込んで校舎を改修、企画展示等の機能を拡充している。また、広域観光組織の設立に向け、高幡市町村圏事務組合での合意が得られた。

物部川地域

JA十市では、直販所の移転拡充が図られ3月末にオープンとなるほか、JA長岡でも「あけぼの街道」の全面開通を好機ととらえ、直販所の移転拡充に向けて動き出している。

また、農家レストラン「まほろば畠」では、引き続き高い集客力を維持し、地産地消が図られている。

食品加工では、地域の加工グループが、ゆず皮を使った新商品を開発し販促活動に取り組んでいるほか、シラの加工品も着実に販売額を伸ばしている。

幡多地域

地域の特色ある水産資源であるキビナゴやメジカ（宗田節）の加工品、魚醤などの新商品開発や販促活動を積極的に実施した。

また、事業規模や販売額の拡大に向けて、製炭窯や海上育苗施設の設置などハード面の充実を図ったほか、黒潮町では新たな「道の駅」の整備に向けて動き出している。

観光面では、サイクリングの開催や、スポーツの大会・合宿の誘致などが行なわれるとともに、四万十町への高速道路の延伸効果を逃さないため、平成25年度の地域博覧会の開催に向け、地域が一体となって取り組んでいる。

安芸地域

フランスで開催された食品見本市に日本で初めてユズ玉が輸出され、その後の商談につながるなど今後の広がりが期待できる外商の動きが出ている。

また、直販所の機能強化に向けて、東洋町の「海の駅」や田野駅屋、芸西村のかっぱ市、キラメッセ室戸の楽市で新規オープンや施設拡張などの動きも出ている。

観光面では、日本ジオパーク室戸（全国）大会の開催により、室戸ジオパークの魅力が大いに発信されるとともに、官民協働での中芸地区的観光キャンペーンの実施、さらには平成27年度に地域博覧会の開催が計画されるなど、安芸地域の観光振興の兆しが見え始めている。

高知市地域

自動車用竹製ハンドルの製造の取組では、製造量が大幅に増え、雇用の拡大につながっているほか、製造の際に出るおが屑が他の産業分野で活用されるなどの広がりが見られる。

また、全国有数の産地であるユリや新高梨の販売促進・ブランド化に取り組んでいる。

新たな地域アクションプランの掘り起こしに向けて、さらに高知市と連携を深めるための「検討会議」を開催し、4件の新規追加（予定）へつながっている。

地産地消・地産外商（ブランド化、アンテナショップ）

完全天日塩の生産拡大と観光への活用

完全天日塩

【田野町】

取組の内容

- ・塩づくり体験ハウスの整備
- ・商談会への参加
- ・ふるさと応援隊説明会での人材発掘

H24の主な成果

- ・受注先及び受注量の増加
- ・体验者や見学者の増加 657人(H24)
- ・就業者(ふるさと応援隊)確保

今後の方向性

- ・新規就業者の確保
- ・観光商品化



力強い高糖度トマト産地の確立

高糖度トマト

【仁淀川町、佐川町、日高村】

取組の内容

- ・選果設備(光センサー、トレー サビリティーシステム)の導入 等によるトマトのブランド化

H24の主な成果

- ・糖度10以上の最上級品など3ランクの商品設定による付加価値のアップ(販売単価が前年比140%)

今後の方向性

- ・安定的な生産体制の確立と差別化による販売戦略の展開



米のブランド化による稻作農業の展開

ブランド米「土佐天空の郷」

【本山町】

取組の内容

- ・ブランド米の生産増、販路拡大
- ・交流による産地のファンづくり
- ・ブランド米を活用した加工品開発
- ・“土佐天空の郷”焼酎の製造施設整備(H24)

H24の主な成果

- ・米食味分析鑑定コンクールで4年連続受賞
- ・栽培面積: 28.4ha(H23)→30.8ha(H24)

中土佐町地域ブランドの創出
と販売促進 【中土佐町】

ぴんぴ (スラリーアイス活用)

取組の内容

- ・ブランド商標登録
- ・「ぴんぴ」ブランドとして、鰯とメジカの販売開始

H24の主な成果

- ・販路開拓 ぴんぴメジカの販売14店舗
- ・「ぴんぴ」ブランドとして、「鰯タタキセット」256セットを販売

今後の方向性

- ・本格取引に向けた具体的な販売戦略や運営体制の整備



ユズを中心とした中山間振興
ユズ 【北川村】

取組の内容

- ・搾汁設備の導入(H21-H24、JA土佐あき北川支所)
- ・フランス食品見本市への出展、ヨーロッパ20カ国への青果輸出

H24の主な成果

- ・果汁の生産量、品質の向上
- ・フランス等20カ国に3.1トンの青果を輸出
- ・高知県産柚子の知名度向上

今後の方向性

- ・成果輸出の拡大
- ・新規市場の拡大



ナシ産地の振興とブランド強化

新高梨

【高知市】

取組の内容

- ・まるはり商標登録申請
- ・新たに「まるはり」デザインの出荷用段ボール、販促グッズの作成
- ・鳥獣害対策の実施

H24の主な成果

- ・知名度(ブランド力)の向上
- ・鳥獣被害の軽減



「ごめんケンカシャモ」のブランド化の取組

ごめんケンカシャモ

【南国市】

取組の内容

- ・南国市内を中心に行ってシャモ肉卸販売を県内外に拡大
- ・シャモ鍋セットの販売を開始

H24の主な成果

- ・シャモ飼育 約2700羽(H24)
- ・シャモ肉取り扱い店舗等
H23: 15店舗 → H24: 34店舗・1卸業者
- ・シャモ肉販売 約2,550kg(1月末時点) 前年同期比 164%



土佐はちきん地鶏・大川黒牛を活用した畜産業の活性化

土佐はちきん地鶏

【大川村】

取組の内容

- ・関係者による経営改善に向けた検討・協議
- ・職員の飼養技術の向上の取組

H24の主な成果

- ・処理羽数(大川村分)
5.9万羽(H23)→4.8万羽
(H25.2.16時点)

今後の方向性

- ・ブランド化の推進
(生産・販売)
- ・職員の飼養技術の更なる向上



中心商店街でのアンテナショップの運営

土佐せれくとしょっぷ てんこす

【高知市】

取組の内容

- ・県産品の新たな掘り起し
- ・中心商店街の活性化のためのイベント等を実施

今後の方向性

- ・地域産品の積極的PR
- ・中心商店街への波及効果の発揮

H24の主な成果

- ・3年目の一日当たりの売上目標達成率105.4%
- ・地域産品の掘り起し: 379業者、約4,170アイテムを登録



津野町地産地消・外商販売戦

津野町アンテナショップ「満天の星」

【津野町】

取組の内容

- ・H24.4.11高知市へのアンテナショップオープン
- ・空港やキヨスクでの大福の販売
- ・各種イベントでの販売

H24の主な成果

- ・売上高 186百万円(H24.4～H25.2)
- ・地場産業大賞「産業振興計画賞」受賞
- ・生産者会員の増

今後の方向性

- ・外商の推進
- ・加工場等への供給体制整備



越知町の総合的な観光推進と地場産品の販売促進

観光物産館「おち駅」

【越知町】

取組の内容

- ・観光物産館「おち駅」を拠点にした地場産品の販売促進と体験型観光の推進

今後の方向性

- ・直販市の販売促進、観光情報発信の充実



地域農産物を活用した直販所「ひかり市」の施設拡充

JA十市新直販所「ごとおち市」

【南国市】

取組の内容

- ・「ひかり市」の移転改装及び機能拡充
- ・地元農産物を活用した商品の開発・販売と顧客獲得

今後の方向性

- ・地元農産物の直販割合を増やすとともに、付加価値を高める取り組みを進める
- ・消費者にアピールできる商品開発を進める



地産地消・地産外商（農産加工）

香美市ブランドの確立・特産品づくり 【香美市】

ユズ皮を活用した特産品づくり

【いの町】

取組の内容

- ・ユズ皮にこだわった新商品2品目の開発
- ・県内大手スーパー等での販売促進活動

今後の方向性

- ・中山間地域における地域住民の所得向上
- ・ユズ皮の買い取りによるゆず農家の所得向上
- ・「奥ものべブランド」の確立

H24の主な成果

- ・新商品の「しおゆずおかず」(佃煮)、「しおゆずぴーる」(ピール)が完成し、販売開始



地域産品を活用した冷菓等の製造販売

アイスクリーム、シャーベット

【いの町】

取組の内容

- ・海外販路の拡大
- ・直営売店の拡張(H25.4リニユーアルオープン予定)
- ・生産体制の強化

今後の方向性

- ・海外商談会等への参加による販路拡大



H24の主な成果

- ・新規雇用3名(正規1名、短期2名)
- ・海外市場での売上増(シンガポールの現地商社との契約等)

「安田(あんた)の白い夢」の販路の拡大と
新商品の開発 【安田町】

マンゴー大福

取組の内容

- ・加工施設の整備
- ・商談会への参加



H24の主な成果

- ・県内量販店、てんこす、高知龍馬空港などに販路を確保
- ・首都圏の大手百貨店と商談中
- ・新規雇用7名(正規7名)

今後の方向性

- ・販売ルートの拡大とブランド化
- ・新商品の開発

「1億円産業の復活」をスローガンとする
津野山産原木シイタケの産地化の推進
原木シイタケ

取組の内容

- ・営業体制の強化と直販ルートの開拓
- ・シイタケ生産施設の整備
- ・生産の担い手対策 及び産地化



春野地区の農産物(トマト等)の
付加価値向上 【高知市】

トマト・ショウガの加工品

取組の内容

- ・新商品の開発
- ・加工用野菜の栽培
- ・商談会・見本市等への出展



H24の主な成果

- ・地域の農産物生産者と連携したトマトソース、ジンジャーエール等の本格的な製造
- ・新たな取引先の開拓

今後の方向性

- ・加工品の安定生産
- ・新たな加工品開発
- ・加工用野菜の生産体制の整備



地域の食材を活かした包あん食品の
開発・製造・販売 【高知市】

包あん食品

取組の内容

- ・製造設備の整備(H24.8)
- ・地域の農産物等を使った大福の製造

H24の主な成果

- ・取引先 6社
- ・新規雇用3名(正規1名、短期2名)

今後の方向性

- ・新たな商品開発
- ・取引先の開拓

「1億円産業の復活」をスローガンとする
津野山産原木シイタケの産地化の推進
原木シイタケ

【椿原町・津野町】

H24の主な成果

- ・県内量販店への直販ルートの確立
- ・乾シイタケの生産量の増産
3.6t(H22)→4.8t(H24)
- ・新規生産者の増(12名)



今後の方向性

- ・営業体制・商品力の強化による販売ルートの拡大とブランド化
- ・生産・基盤施設の整備

仁淀川流域茶の生産から販売までの一貫体制の強化
による販売額の向上

【いの町、仁淀川町、佐川町、越知町、日高村】

プレミアム茶畑プリン

取組の内容

- ・地域の特産「お茶」を使ったスイーツづくりによる仁淀川流域茶の知名度向上



H24の主な成果

- ・知名度の向上と販路の拡大

今後の方向性

- ・スイーツ製造販売の本格的な事業展開

JA出資型法人を核とする地域活性化の取組

米粉加工品

取組の内容

- ・(株)とさ千里との連携による6次産業化の取組
- ・嶺北高校との連携による新商品開発の取組
- ・米粉加工品の開発(2品目)

【嶺北地域全域】

今後の方向性

- ・関西地域をターゲットにした販路開拓
- ・加工品開発による付加価値の増



H24の主な成果

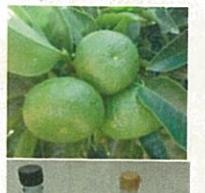
- ・関西地域を中心とした新たな販路の開拓

直七生産・加工・販売の促進

直七

取組の内容

- ・搾汁施設の整備(H22年度)
- ・県が主催する商談会への参加等による販路の拡大
- ・新商品の開発



H24の主な成果

- ・直七の搾汁量の増産
16t(H23)→25t(H24)
- ・販路の拡大 約80件(H23)→約200件(H24)

今後の方向性

- ・生産体制の強化、販路の拡大及びブランド化(知名度アップ)
- ・加工施設の整備

地産地消・地産外商（水産加工）

水産加工体制の強化等によるシラスの魚価等向上

シラス

取組の内容

- ・最新式の設備を導入した加工施設の整備

H24の主な成果

- ・250トンの加工処理体制の整備
- ・新規雇用 10名（正規2名、短期8名）

今後の方向性

- ・地元漁業者との連携による生産拡大
- ・営業活動の強化、新商品の開発

【安芸市】



うるめのブランド化

一本釣りうるめいわし

取組の内容

今後の方向性

- ・ウルメイワシの加工品開発
- ・商談会等への参加による販路拡大

【土佐市】



H24の主な成果

- ・売上高1,407千円（H21）→26,153千円（H24.4～12）
- ・スーパーマーケットトレードショーのフード30選に選出

宿毛近海の水産資源を活用した地域ブランド確立・推進事業

ブリ、カツオ

取組の内容

- ・関東・関西方面を中心とした販促活動の実施
- ・ブリ・カツオ等を活用した新商品の開発

H24の主な成果

- ・県などが主催する商談会に参加した事により、大手百貨店や飲食店等の取引先が増加（12件）
- ・新規雇用2名（正規2名）

今後の方向性

- ・販路拡大および加工場施設の充実化

【宿毛市】



「シイラ加工食品の生産拡大

マヒマヒ竹輪 【四万十町】

取組の内容

- ・四万十マヒマヒ竹輪の販売
- ・新商品開発：おさかなチップス、かにつちよマヒマヒ竹輪磯辯揚

H24の主な成果

- ・農林水産大臣賞受賞
- ・連携事業者の経営安定

今後の方向性

- ・新商品の開発と販路開拓
- ・競合他社製品との差別化



宗田節の販路拡大に向けた取組

宗田節

【土佐清水市】

取組の内容

- ・加工機械の整備
- ・県内外へのPR活動、一般消費者向けの商品の開発・販売

H24の主な成果

- ・取引先の増加：6社
- ・宗田節新商品7アイテムの売上：850万円（3月末見込）

今後の方向性

- ・PR活動の継続
- ・新商品の開発、販路開拓



キビナゴ加工商品の生産体制強化

キビナゴけんぴ

【大月町】

取組の内容

- ・新商品開発（塩麹味の完成）
- ・パッケージリニューアル等
- ・商談会への参加（東京、大阪）

H24の主な成果

- ・販売袋数：118,611袋（前年比109%）
- ・商談会での取引先増加11件
- ・新規雇用2名（短期2名）

今後の方向性

- ・パッケージや新商品の開発と販売促進



魅力のある観光

わざわざ行こう「海洋堂ホビー館四万十」

を核としたミュージアムのまちづくり 【四万十町】

海洋堂ホビー館

取組の内容

- ・「海洋堂ホビー館四万十」リニューアルオープン
校舎を改修し企画展等の機能を拡充（H25.3.16）
- ・地元の観光客の受入体制づくり（食の提供、体験教室の実施）
- ・近隣に海洋堂かつば館オープン（H24.7）

H24の主な成果

- ・ホビー館来館者数 66,782人（H25.2末現在）
- ・地域への波及効果
- ・地場産業大賞「大賞」受賞

今後の方向性

- ・海洋堂ホビー館を拠点とした滞在型観光のしくみづくり
- ・受入体制の充実（広域連携の強化）



世界ジオパーク認証を活かした観光の振興
室戸ジオパーク

【室戸市】

取組の内容

- ・ジオパーク室戸(全国)大会の開催
- ・ジオパーク関連施設の整備
遊歩道、拠点施設の検討
- ・ジオツアーコース造成

H24の主な成果

- ・ジオパーク室戸(全国)大会の開催
約40地域から延べ約2,200人が参加
- ・ガイド実績
4,727人(H23)→7,300人(H24見込)

今後の方向性

- ・ガイド養成、拠点施設整備、ジオツアーコース造成



広域観光の取り組みの推進

物部川流域広域観光

取組の内容

- ・物部川地域広域観光ガイドブックの作成
- ・関西・中四国地域へのプロモーション及びモニターツアーの実施
- ・農林漁家民泊先進地視察
- ・とさ旅セミナーに参加し、周遊プラン作成

H24の主な成果

- ・旅行会社での商品化検討:2件
- ・3市連携体制の構築

【物部川地域全域】

今後の方向性

- ・高知中央広域定住自立圏構想のもと、高知市とともに取り組んでいく



嶺北地域の連携による交流人口の拡大

県外都市部の大学との連携

取組の内容

- ・学生と地域住民との交流・意見交換
- ・学生視点による地域分析と、その分析に基づいた地域活性化の企画・提案

H24の主な成果

- ・県外都市部の3大学と連携した取組の開始
(参加学生:66人(H25.3末見込み))
- ・都市部の学生と地域の意識のギャップの理解

今後の方向性

- ・学生の企画・提案内容の実現化に向けた協働した取組
- ・都市部の大学と地域の交流の継続・拡大

【嶺北地域全域】



イルカのふれあい体験による交流人口の拡大 【室戸市】

室戸ドルフィンセンター

取組の内容

- ・陸上施設の整備
陸上プール、待合・案内施設
- ・ふれあい体験メニューの検討
- ・県外等への営業活動の展開
- ・イルカ頭数の増
2頭(H23)→4頭(H24)



H24の主な成果

- ・年間来場者
22,621人(H23)→21,100人(H24見込)

体験観光等の旅行商品化と販売の推進・地域の観光情報の発信

【香南市】

海から山から体験観光

取組の内容

- ・羽尾長谷寺座禅体験ツアー、第1回土佐塩の道トレイルランニングレースなどの催行
- ・「香南市地旅ガイド」の配布
- ・絵金生誕200年記念事業のPR
- ・プロモーション:のべ4回77社

今後の方向性

- ・地域素材を使った旅行企画の多様化



H24の主な成果

- ・主催旅行:8コース295名参加

嶺北地域の連携による交流人口の拡大

【嶺北地域全域】

嶺北地域観光・交流の推進

取組の内容

- ・協議会活動の充実、体制強化(緊急雇用による専任職員配置)
- ・協議会活動への参加者の増(嶺北高校、商工会、観光バス会社等)



H24の主な成果

- ・旅行商品化:5社24ツアー(うち催行11ツアー306人)(H25.2末現在)
- ・協議会主催ツアー:5ツアー63人(H25.2末現在)

今後の方向性

- ・協議会の安定した運営体制の構築
- ・地域団体による主体的な独自性のある取組

観光事業から観光産業へ～観光産業の振興～
体験観光等の推進

取組の内容

- ・西島園芸団地に「まほろばレンタサイクル」を整備し、10月から運用開始
- ・「長宗我部元親ラリー3」の開催
- ・エージェントを訪問し、旅行商品のセールスを実施

H24の主な成果

- ・レンタサイクル利用実績
55人(10月開始～2月末日)
- ・中国地方のエージェント2社が「岡豊山さくらまつり(土佐の食1グランプリ)」バスツアーの催行決定

【南国市】

今後の方向性

- ・さらなる旅行商品づくり及びそのブラッシュアップ



「奇跡の清流仁淀川」流域の広域観光推進
仁淀川流域観光

取組の内容

- ・流域市町村等と連携した旅行商品の企画・売り込み
- ・仁淀川流域全体の観光情報の発信

H24の主な成果

- ・旅行会社によるツアーの実施20本(H23)→93本(H25.2)、
参加者663人(H23)→2,111人(H25.2)

今後の方向性

- ・観光資源の旅行商品化、
売り込み
- ・「奇跡の清流仁淀川」ブランドを活かした観光・物販情報の発信



その他の特徴的な展開

嶺北地域の連携による移住促進の取組
移住・定住人口の拡大

取組の内容

- ・れいほく田舎暮らしネットワークと4町村の体制を強化(計5名)し、連携した移住促進の取り組みを展開
- ・県外での移住相談会への参加(18回)

H24の主な成果

- ・移住相談件数:249件
(H25.2月末現在)
- ・移住実績:48名
(H25.2月末現在)

今後の方向性

- ・継続した取組体制の確立
- ・移住希望者のニーズに沿った、住居・仕事のパッケージ化による情報発信



近隣地域等との連携による滞在型・
体験型観光の推進

【高知市】

体験型旅行商品（とさ恋ツアーア）

取組の内容

- ・第2種旅行業免許の取得
- ・新商品の開発
- ・ガイドブックの発行

今後の方向性

- ・更なる旅行商品づくりと情報発信



H24の主な成果

- ・県下全域での旅行商品づくり
- ・利用客数2,700人(H24)

四万十市の地域資源を活かした通年・滞在型観光の推進
サイクリング・花絵巻

【四万十市】

取組の内容

- ・産振アドバイザーを活用した各種サイクリングイベントの開催
- ・四万十花絵巻の開催(菜の花、桜、花菖蒲、紫陽花、睡蓮、曼珠沙華)

H24の主な成果

- ・自転車による観光の仕組みづくりの構築
- ・雇用の創出(花絵巻):緊急雇用16名

今後の方向性

- ・サイクリングトレイン等における愛媛県との連携体制の構築



滞在型市民農園等を活用した四万十町の移住を受け入れやすい風土づくり

【四万十町】

クラインガルテン

取組の内容

- ・滞在型市民農園(クラインガルテン四万十)の増棟(7棟増棟、コテージ合計22棟)
- ・施設内イベント等交流の促進

H24の主な成果

- ・施設稼働率 96.8%(H25.2末)
- ・施設利用者2名が居住

今後の方向性

- ・入居者の移住に繋がるしくみづくり
- (地域住民との交流促進、サポート体制の整備等)



エディブルフラワーを活用した新商品の開発と販路の拡大 エディブルフラワー

【芸西村】

取組の内容

- ・エディブルフラワーの加工品の開発
- ・商談会への参加

H24の主な成果

- ・「お花ソルト」「お花オイル」を開発
- ・首都圏の大手百貨店を含む20店舗の販路を確保

今後の方向性

- ・販路の拡大
- ・新商品の開発



竹バイオマスを活用した新しい産業の創出 【高知市】

自動車用竹ハンドル

取組の内容

- ・竹製自動車ハンドルの素材の製造
- ・竹ブラシの製造

H24の主な成果

- ・新規雇用15名
- ・森林組合等との連携による竹材の確保の仕組みの構築

今後の方向性

- ・竹材の安定確保
- ・新製品の研究・開発



売れる商品づくりによる地産外商の推進

【佐川町】

さかわの地乳

取組の内容

- ・地元産牛乳のブランド化による牛乳や加工品の消費拡大

H24の主な成果

- ・地乳出荷量の拡大
240トン(H21)
→ 366トン(H23)



今後の方向性

- ・地乳を使った加工品の開発促進

町内の持続可能な山林資源を活用した製炭事業

土佐備長炭

【大月町】

取組の内容

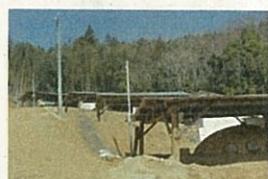
- ・備長炭製炭窯4基の設置
- ・備長炭生産者の育成

H24の主な成果

- ・4基の窯の完成により
4名の就業機会の創出
- ・生産者2名の育成

今後の方向性

- ・窯の設置と人材育成
- ・生産量の増大



地産地消・食育の推進

【南国市】

農家レストランまほろば畠

取組の内容

- ・生産者と消費者をつなぐ場づくりとして農家レストランを週1回営業
- ・安定的経営の維持による地産地消の推進
- ・地域食材を活かしたメニュー開発



H24の主な成果

- ・好調を維持して来店者1万人突破(H24.1.17)
- ・総来店者数 18,138人(H25.2末現在)、1回あたり来店者数(同)平均173人

今後の方向性

- ・顧客満足度向上へ向けた取り組みの継続
- ・作業の効率化等によるスタッフの負担軽減及び賃金単価向上

地域内高校と連携した将来の担い手育成に関する取組

【嶺北地域全域】

模擬会社化を目指す嶺北高校 Reihoku Youth Neighborsの活動

取組の内容

- ・(株)れいはく未来と連携した新商品開発
- ・観光甲子園への応募



H24の主な成果

- ・新商品の企画・提案(5品目、うち1品目が24年度内に商品化の予定)
- ・地場産業大賞「次世代賞」受賞
- ・高校生の地域活性化への貢献意欲の向上

今後の方向性

- ・地域を巻き込んだ活動への展開
- ・卒業生を含む若者の受け皿となる会社化の取組

大月町種苗生産施設活用による県内産養殖種苗のシェア拡大

【大月町】

養殖種苗

取組の内容

- ・海上育成用小割設置
(H24.12利用開始)
- ・水産種苗生産

今後の方向性

- ・全国シェアの拡大
- ・カンパチ種苗の安定生産



H24の主な成果

- ・新規雇用8名(正規4名、短期4名)
- ・種苗生産、稚魚放流
- ・鯛、シマアジ、イサキ、カンパチ、ノコギリガザミの種苗開始
- ・イサキ30万尾、ノコギリガザミ若干の稚魚放流

地域アクションプランの追加・削除項目について

1 地域アクションプランの動向

地 域	H24年度	H25年度		
	AP数 H24.9時点	追 加	削 除	AP数
安 芸	28	2	0	30
物部川	23	0	0	23
高知市	30	4	▲2	32
嶺 北	28	0	0	28
仁淀川	38	0	0	38
高 幡	34	3	0	37
幡 多	40	2	0	42
合 計	221	11	▲2	230

地域アクションプランの追加項目

NO.	地域	地域アクションプラン名 【実施主体】	事業概要
1	安芸	キラメッセ室戸「楽市」の機能強化(室戸市) 【実施主体】室戸市	地域食材をえたジェラートの製造や地域産品の加工を行う施設を整備して、新商品を開発するとともに、商品の充実や販売を促進することにより、生産者の所得向上を図る。
2	安芸	マリンスポーツ体験拠点づくり(東洋町) 【実施主体】東洋町	サーフィンやダイビングなどを中心としたマリンスポーツの体験を目的とした修学旅行や企業研修、サークル活動の受入れ施設を整備するとともに、新たな体験プログラムの開発を行う。
3	高知市	県産竹材を用いた新規分野への製品展開(高知市) 【実施主体】(株)コスモ工房	高知県産の竹を使用した竹集成材等の製造技術を活かした新製品の製造を行い、地域の経済の発展と雇用の拡大を図る。
4	高知市	防災食の開発・製造・販売(高知市) 【実施主体】高知県食品工業団地事業組合の企業など	南海地震に備え、地域産品を原材料とする防災食の製造を行う。
5	高知市	「弘化台ブランドの創出」地元鮮魚を活用した食品の製造・販売(高知市) 【実施主体】(有)永邦水産	規格外の地元鮮魚を活用して食品加工を行い、弘化台ブランドとして販売していくことで、水産物の消費拡大を図る。
6	高知市	地域の農産物を使った菓子類等の外商の推進(高知市) 【実施主体】(有)マンジェ・ササ	地域の特徴のある野菜や果物など農産物を使った菓子類を首都圏で直販することで、農産物の知名度及び雇用の拡大を図る。
7	高幡	野見湾産養殖カンパチの販路拡大(須崎市) 【実施主体】大谷漁協、大谷漁協ネイリ部会、(株)みなみ丸	他産地の生産動向や県外大手出荷業者の販売戦略に左右されにくい販売力(魚価形成力、取引量の拡大等)の強化を図る。
8	高幡	浦ノ内湾産養殖マダイの販路拡大(須崎市) 【実施主体】高知県漁協深浦支所、土佐鯛工房、乙女会、(株)大東冷蔵、(有)小島水産	他産地の生産動向や県外大手出荷業者の販売戦略に左右されにくい販売力(魚価形成力、取引量の拡大等)の強化を図る。
9	高幡	楠木鮮魚一を活用した南地区の活性化(須崎市) 【実施主体】楠木鮮魚一	滞在型・体験型の観光資源及び施設を整備し、南地区への誘客を図る。また、野見湾の地魚を中心に鮮魚商品の販売力の向上を図る。
10	幡多	洋ランのブランド確立・流通促進事業(宿毛市) 【実施主体】蘭遊 六志会	宿毛市内の生産者をはじめ、県内の洋ラン生産者が新たな組織を立ち上げ、各生産者の洋ラン商品を一元的に集荷、パッケージ化し、市場を通じた流通に加えて、直接小売店や消費者に販売することで販路の拡大を図る。
11	幡多	四万十牛の商品開発・販売(四万十市) 【実施主体】横山精肉、西土佐中央牧場、西土佐ふるさと市組合	四万十市西土佐の畜産家、農家、加工業者が連携し、四万十川にこだわった加工商品を開発、製造、販売することで、地域内外での売上の拡大を図る。

3

地域アクションプランの削除項目

NO.	地域	地域アクションプラン名	削除理由
1	高知市	薬草の里づくり(高知市) 【実施主体】 (財)夢産地とさやま開発公社、集落営農組織など	全県的な産業成長戦略の位置付けのもとに支援を継続していく。
2	高知市	竹バイオマスを活用した新しい産業の創出(高知市) 【実施主体】 (株)コスマ工房、(株)竹産	(株)コスマ工房が実施している自動車ハンドル用竹集成材の製造に加え、竹を使った新製品の開発・製造が期待できることから、内容を再構築する。(追加項目NO. 3)

